

令和6年 長崎労働局管内の熱中症による労働災害

番号	発生月	業種	年代	休業見込期間	発生時間帯	気温 (注1)	WBGT値 (注2)	事案の概要
1	7月	その他の事業	60歳代	1ヶ月	12時台	31.4℃	31.0℃	屋外での水道検針作業中、身体全体の攣り、立眩み及び倦怠感を発症し、歩行困難となったため医療機関受診したもの。
2	7月	接客 娯楽業	60歳代	6ヶ月	9時台	29.6℃	29.3℃	自宅にて、意識を失って倒れているところを発見され、救急搬送されたもの。
3	7月	ビルメンテナ ンス業	60歳代	1週間	11時台	30.9℃	31.5℃	倉庫での清掃作業終了後、眩暈、吐き気を発症し、熱中症の疑いで救急搬送されたもの。 当日は朝から気温が高く、降雨もあり蒸し暑い環境であった。
4	7月	商業	30歳代	4日	15時台	32.1℃	30.6℃	屋外での洗車業務に従事中、突然ふらつき座り込み、その後、熱中症の症状を発症したもの。屋内で各部位を冷やして休憩したが、意識が朦朧とし意思の疎通が取れなくなり救急搬送されたもの。
5	7月	運輸交 通業	50歳代	7日	18時台	30.9℃	29.0℃	屋内での手荷物仕分け作業に従事中、多量の発汗と息切れを発症。早退勧奨を固辞し、涼しい場所で水分を摂りながら体調を確認し作業に戻るも嘔吐及び軽度の痙攣を発症し救急搬送されたもの。前日から食事を摂っておらず、睡眠も十分ではなかった。
6	7月	農業	20歳代	12日	10時台	30.9℃	30.5℃	屋外での草刈り作業中、下半身が動かないと申告し医療機関に搬送されたもの。横紋筋融解症の診断。炎天下で2時間ほど、水分を摂りながら作業を行っていた。
7	7月	その他の事業	60歳代	3週間	12時台	33.9℃	31.3℃	工場内での機械の修理作業に従事中、立ち眩みやふらつき等を発症し医療機関を受診したもの。
8	7月	商業	50歳代	8日	9時台	31.4℃	31.1℃	店舗内外の清掃作業に従事中、店舗内のエアコンの効きが悪く体調不良となったもの。後日、医療機関を受診し熱中症と診断された。
9	7月	警備業	70歳代	1週間	16時台	31.9℃	31.0℃	工事現場での交通誘導警備に従事中、熱中症と思しき症状を発症したもの。
10	7月	港湾荷 役業	60歳代	8日	13時台	31.9℃	30.8℃	魚市場内で鮮魚出荷のための作業中、ふらついて倒れそうになり、その後、意識が朦朧としてきたため救急搬送されたもの。搬送待ちの間、水の摂取、首に氷嚢を当てる等の応急措置により意識は回復。
11	7月	警備業	50歳代	1ヶ月	14時台	32.0℃	32.2℃	屋外での交通誘導警備業務に従事中、頭痛、吐き気及びふらつきを発症し医療機関を受診したもの。
12	8月	建設業	20歳代	4日	11時台	31.7℃	31.6℃	工事現場で外周の片付け作業中、午前11時頃に頭痛を発症したことから、日陰で水分を摂取し午後の作業開始まで休憩。午後の作業開始時も頭痛があり手の痺れも発症したことから医療機関を受診したもの。
13	8月	警備業	40歳代	1ヶ月	12時台	34.1℃	31.9℃	工事現場での交通誘導警備に従事。午前の業務が終了し、エンジンをかけエアコンを使用する自動車内で昼休憩を取り始めたところ、眩暈、吐き気及び手足の痺れを発症し医療機関へ搬送されたもの。
14	8月	警備業	70歳代	1週間	15時台	33.7℃	33.4℃	工事現場での交通誘導警備に従事。休憩中に熱中症と思しき症状を発症し救急搬送されたもの。

番号	発生月	業種	年代	休業見込期間	発生時間帯	気温 (注1)	WBGT値 (注2)	事 案 の 概 要
15	8月	食料品製造業	20歳代	2週間	12時台	33.7℃	31.2℃	調理場での加熱調理業務に従事中、室温が40℃前後に上昇する中で眩暈、息苦しさを発症。クーラーの効いた休憩室で休憩していたが過呼吸、さらに痙攣及び筋肉硬直を発症し救急搬送されたもの。
16	8月	ガス業	50歳代	5日	13時台	35.7℃	31.8℃	ガスの検針業務に従事。業務終了後、帰社した直後に体調の悪化をきたし、動けなくなり救急搬送されたもの。
17	8月	漁業	60歳代	6日	9時台	31.3℃	31.6℃	定置網作業中、体調の悪化をきたしたものの。帰宅させるも、自宅玄関で動けなくなり救急搬送されたもの。熱中症による急性腎不全の診断。
18	8月	漁業	30歳代	5日	13時台	32.0℃	31.4℃	船上作業中、吐き気を発症したことから水分、塩分を摂取。その後、帰港時には足の痺れ、眩暈及び嘔吐を繰り返したことから医療機関を受診したもの。
19	8月	造船業	50歳代	6日	9時台	31.4℃	29.7℃	製品であるボイラ炉内での手入れ作業に従事中、吐き気と眩暈を発症。こらえて水を飲みながら作業を継続したところ動けなくなり救急搬送されたもの。送風ファンで風を送りながらの作業ではあった。
20	8月	建設業	30歳代	14日	17時台	32.1℃	29.7℃	工事現場での足場の解体、片付け作業に従事中、頭痛、吐き気及び全身のこむら返りを発症。我慢して作業を継続したが、作業終了後、自宅でさらに症状が悪化し救急搬送されたもの。急性腎前性不全の診断。
21	8月	道路貨物運送業	50歳代	5日	20時台	29.6℃	27.6℃	事務所階段下で倒れこみ、救急搬送されたもの。
22	8月	建設業	60歳代	1週間	15時台	31.8℃	32.3℃	船舶整備のため機関室内での作業中、体調不良となったもの。室外に出て体を冷やし休憩していたが、ふらつき及び足がつったため医療機関を受診したもの。
23	9月	造船業	50歳代	4日	12時台	31.6℃	31.6℃	船体ブロック内での溶接作業に従事。午前の作業を終え休憩所へ向かう途中、目先が真っ白になりふらついているところを発見され、さらに手足が痺れ、意識が朦朧としていたことから救急搬送されたもの。
24	9月	商業	40歳代	4日	23時台	28.5℃	26.0℃	店舗内整備工場において自動車部品の交換作業中、体調不良で動けなくなり、救急搬送されたもの。

(出資) 労働者死傷病報告

(注1) 気温については、気象庁ホームページで公表されている現場近隣の観測所における発生時間帯の気温を参考値として示した。

(注2) WBGT値については、環境省熱中症予防サイトで公表されている現場近隣の観測所における発生時間帯のWBGT値を参考値として示した。